

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

平成29年 4月 14日

大分県知事 殿



提出者

住 所 東京都中央区日本橋本石町三丁目3-14

氏 名 イーレックスニューエナジー佐伯株式会社

代表取締役社長 本名 均

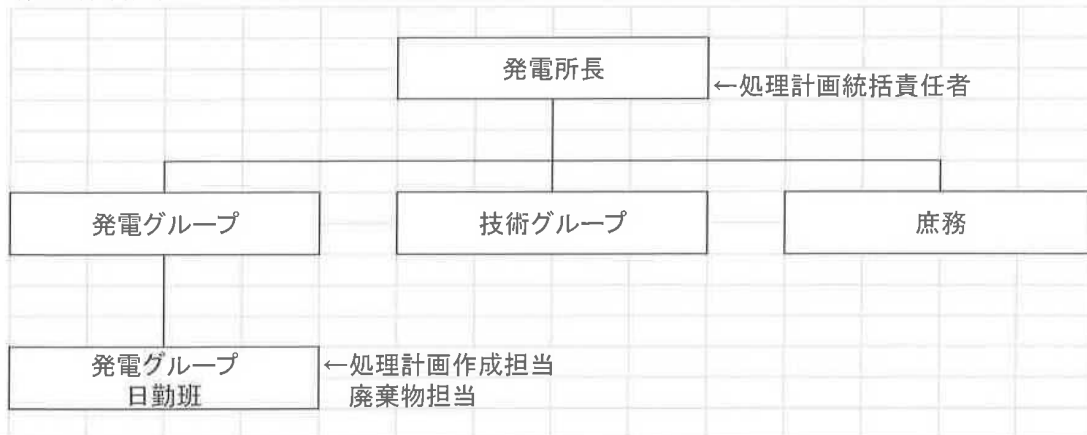
電話番号 03-3243-1185

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	佐伯発電所
事業場の所在地	佐伯市戸穴337-9
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類 電気・ガス・熱供給・水道業、中分類 電気業
②事業の規模	145,604Mwh
③従業員数	20名(正社員2名、常勤関係社員2名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	パーム椰子殻(PKS)および石炭の燃焼灰→収集運搬業者→最終処分業者

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻など
	排出量	3,253t	1,114t
	(これまでに実施した取組) ①空気量を十分投入し、燃焼効率を上げ未燃分の減少に努めた。 ②灰分の少ない燃料の確保に努めた。		
②計画	【目標】燃焼効率の向上		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻など
	排出量	7,000t	2,400t
	(今後実施する予定の取組) ①燃焼効率を上げ未燃分の減少に努める。 ②灰分の少ない燃料の確保に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻など
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ばいじんを肥料に活用できないか調査する。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻など
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻など
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻など
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻など
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻など
	全処理委託量	3,253 t	1,114 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3,253 t	1,114 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) ・有効利用のため再生利用業者へ全量委託した。			

②計画	【目標】有効利用の徹底		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	燃え殻など
	全処理委託量	7,000 t	2,400 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	7,000 t	2,400 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・再資源化し有効利用の徹底をはかる。		
※事務処理欄			